

第11回 姫路駅北駅前広場整備推進会議 議事概要

No	項目	意見の概要 (※ 意見の概要に↓があるのは委員などの応答)	市の考え方 (※ 意見の概要に↓があるのは委員などの応答)
	全般について		「姫路駅北駅前広場基本設計」を基に実施設計に向けてご意見をいただくとともに、「北駅前広場とコアゾーンの整備スケジュール」と「北駅前広場のイメージパース」について説明を行う。
	大手前通りの空間配分について	B-1案が一番良いと考える。大手前通りのリニューアルを検討する際には、歩道空間について、十二所前線以北と一体的に利用できるように考慮すべきである。	「十二所前線以南の大手前通りの空間配分」について、白銀交差点での接続状況などから、「車道中央集約案（B-1案）」を基本に、実施設計を進めていきたい。 ⇒ 今後関係部署と連携を図りながら検討していく。
山陽百貨店の北側に搬入車の寄付きがあるが、大手前通りの十二所前線以南において一般車の通行を制限する際、北側道路からの搬入に影響が出ないようにしていただきたい。		⇒ 山陽百貨店の北側道路からの搬入については、今後、関係機関と協議していく。	
交通機関の乗り換えがスムーズになるように、大手前通りのタクシー乗場やバス停留所は、現状に近い形で考えてもらいたい。		⇒ 山陽電鉄前のタクシー乗場は残す方向で検討する。	
	サンクンガーデンと地上広場のデザインの方向性について		専門家会議及び市民ワークショップなどの意見を参考に、サンクンガーデンはプランBを基本にし、その北側に位置する広場は軸性のある都市的な地上広場とする方向で実施設計を進めていきたい。
プランBを希望する。新駅ビルについては、地下をセットバックし、サンクンガーデンを広く確保できるようにしてもらいたい。 ↓ 新駅ビルの地下部をセットバックすることについては、以前に姫路市から提案いただいたが、階段を配置できなくなることを理由に、正式に断っている。		⇒ 新駅ビルの地下をセットバックすることについて、これからもJR西日本に要望していく。今後、関係機関との協議が必要であると考えている。	

No	項目	意見の概要 (※ 意見の概要に↓があるのは委員などの応答)	市の考え方 (※ 意見の概要に↓があるのは委員などの応答)
	サンクンガーデンと地上広場のデザインの方向性について	サンクンガーデンから駅西方面への地下通路を、明るく安全な通路としてもらいたい。 サンクンガーデンの小川・せせらぎを、駅西方面への地下通路まで延長してもらいたい。	⇒ 駅西方面への地下通路は、リニューアルが必要であると認識している。 サンクンガーデンの小川を延長することについては、水の管理など多くの課題があるため、サンクンガーデンの中で計画したいと考えている。
地下街の管理者としては、サンクンガーデンの北面の開口部を広く取り、採光を遮ることなく、地下街とサンクンガーデンを一体的に利用できようにしていただきたい。		⇒ 地下街と現駅ビルの間壁を撤去することは構造上難しいため、現況の開口部を基本に検討したい。	
新駅ビルの計画においても「軸性」を意識する必要があるが、「軸性」とはどのようなものか。		⇒ 姫路市の都市全体の軸として、南北軸は大手前通りを介し姫路駅から姫路城までの軸、東西軸は姫路駅からコアゾーンへ繋がる軸と考えている。	
新交番の位置については、市民の安全・安心を守るという点から、駅前広場や大手前通りを望める位置であることは、非常に重要な意味を持つ。姫路市から新交番の位置やイメージを提示し、駅前広場のコンセプトに合致しているか、意見をいただくべきではないか。		⇒ 新交番の位置は、基本的に大手前通りと駅前広場を望める位置を考えている。今後、交番の位置について数案を提示させていただく。	
新駅前ビルは商業ビルなので、新交番は、新駅前ビルとある程度の距離をおいて配置してもらいたい。		⇒ 今後、交番の位置について数案を提示させていただく。	
新交番の位置については、駅前に安全・安心を優先させるのか、観光を優先させるのかなど、議会でも様々な意見がある。			
サンクンガーデンに、水と緑を使いビオトープを造るという意見があったが、専門家会議ではビオトープを維持するのは難しいとのことだった。サンクンガーデンだけで生態系を維持するのは難しいので、周辺地域との連続性を考える必要がある。		⇒ 専門家会議での意見にもあったが、サンクンガーデンでのビオトープの実現が難しいことは認識している。今後、専門家の意見を聞きながら、検討していきたい。	
現在、建物や都市計画の専門家が参画しているが、今後、実施設計において、生態系や文化に関する専門家の参画が必要になるのではないか。		⇒ 実施設計においても、専門家の意見を聞くための取り組みを継続していきたい。	

No	項目	意見の概要 (※ 意見の概要に↓があるのは委員などの応答)	市の考え方 (※ 意見の概要に↓があるのは委員などの応答)
	サンクンガーデンなど広場空間の活用と管理		「サンクンガーデンなど広場空間の活用と管理」について、他都市の事例を参考にしながら、仕組みづくりを検討していきたい。
姫路の駅前において、高松駅のような広い駐輪場を検討してもらいたい。		⇒	駐輪場の計画については、駅前だけでなく、姫路駅周辺全体で捉える必要がある。
駅前広場や大手前通りだけでなく、大手前公園や姫路城周辺を含めた活用・管理方法を考えなければ、姫路城周辺が衰退してしまう。		⇒	今後、他部局と連携して、検討を進めたい。
中心市街地活性化基本計画等との関連を整理する必要があるのではないか。		⇒	中心市街地活性化基本計画において、駅前広場や地下街の改修は主要な事業として位置づけられており、今後とも連携を図っていきたい。
サンクンガーデンの計画において、「美しさ」と「生物との共存」は両立し難いので、どちらかを選択すべきではないか。			
人の流れが、姫路城方面に多く向かい、駅西方面に向かわなくなるのではないか			
自転車・歩行者の動線と駅前広場利用者が交錯しないように、動線を明確に区分する必要がある		⇒	詳細については、今後、検討したい。
中央コンコースと地下が繋がっていないため、地下へ人が流れるかが心配される。駅からサンクンガーデンや駅西方面への地下動線を検討すべきではないか。			
			十二所前線以南の大手前通りの空間配分については、B-1案を、サンクンガーデンについては、空間のしつらえを一体的にしたプランBを、その北側広場については、軸性のある都市的な地上広場を基本として、実施設計を進めていく。
	その他	新駅前ビルのデザインは、トラディショナルモダンで、すっきりとしたデザインになっていると感じている。新交番のデザインは、新駅前ビルと調和が図られていることが求められる。	
現在、駅前には雨が降ると、地表面の排水ができないという課題があるため、排水処理について十分に検討してもらいたい。		⇒	詳細については、実施設計の中で検討していきたい。

No	項目	意見の概要 (※ 意見の概要に↓があるのは委員などの応答)	市の考え方 (※ 意見の概要に↓があるのは委員などの応答)
	その他	<p>北駅前広場から東側の高架下タクシー待機場までは距離があるので、西側のバス待機場の一部をタクシー待機場として利用することはできないのか。</p> <p>市議会においても、専門家会議や市民ワークショップの意見を尊重している。</p>	<p>⇒ 基本的には、タクシーの待機場を東側に、バスの待機場を西側に考えているが、今後バス・タクシー事業者の意見を聞きながら検討していきたい。</p>